

認知症介護従事者に対する研修の
効果的な実施方法及び評価に関する調査研究事業
報告書

平成30年3月

社会福祉法人東北福祉会
認知症介護研究・研修仙台センター

はじめに

社会福祉法人東北福祉会

認知症介護研究・研修仙台センター

センター長 加藤伸司

平成 26 年に厚生労働省によって実施された「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」によると、認知症者の人の数は 2012（平成 24）年に約 462 万人、軽度認知障害（MCI）が約 400 万人と推計され、2025（平成 37）年には、認知症の人は約 700 万人前後に上昇することが見込まれている。介護労働安定センターの「介護労働実態調査」によれば、全従事者の 6.6%程度が無資格者であることから、十分な知識や技術を有していない従事者が相当数存在することが予測され、認知症介護に従事する専門家の技能向上は喫緊の課題である。平成 25 年度に実施された「認知症ライフサポートモデルを実現するための認知症多職種協働研修における効果的な人材育成のあり方及び既存研修のあり方に関する調査研究事業」（日本能率協会総合研究所）においても、認知症介護研修事業の課題として「実践者研修の受講者には新人や初任者が多いこと」「基礎的な研修を創設し、最低限の知識を有する専門家を早急に増やすこと」「全国の認知症介護従事者が基礎的な知識を有すること」の 3 点が指摘されており、認知症介護の初任者を含む従事者全体の技能向上に資する教育体制の整備は必要不可欠である。

平成 27 年度に策定された「認知症施策総合推進戦略（新オレンジプラン）」では、良質な認知症介護を担うことができる人材確保のための研修事業を推進するため、認知症介護研修事業の充実と初任者向けの認知症介護基礎研修が創設され、平成 28 年度より開始されている。認知症介護基礎研修は全国の認知症介護初任者の技能向上の促進を目的とし、e ラーニング受講と集合研修を組み合わせたブレンデッド型研修の受講を選択可能とし受講機会の拡大を推進している。平成 29 年 7 月に改定された認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）においても「新任の介護職員等が認知症介護に最低限必要な知識・技能を e ラーニングの活用により修得できる研修として導入した認知症介護基礎研修について、認知症介護に携わる可能性のあるすべての職員がこれを受講することを目指す」とし、認知症介護研修の受講者数を増やし、従事者の一定の質を担保するための方略として e ラーニング等の受講アクセシビリティの向上に関する検討の必要性を提唱している。

本事業では全国の認知症介護従事者に対する研修機会の確保を目標とし、昨年度より開始された認知症介護基礎研修や刷新された認知症介護実践者研修、実践リーダー研修、指導者養成研修の実施状況を評価し、認知症介護従事者の質の向上に効果的な研修方法を検討した。特に認知症介護基礎研修および e ラーニングのしくみは創設されてまもなく、改善課題をいち早く把握し、早急に改善することによって研修体制の安定化を図る必要がある。今後は認知症介護研修の受講拡大によって、質の高い認知症ケアを提供できる人材が全国的に拡大することが望まれる。一刻も早く施設・事業所、在宅における不適切なケア、虐待等が根絶し、認知症の方々と介護者にとって安心できる社会になることを願っている。

平成 30 年 3 月

目次

I. 事業概要	
1. 目的	1
2. 実施体制	1
3. 主な活動日程と内容	2
4. 委員会、調査結果を踏まえた結論の要点	3
II. 事業の背景と目的	
1. 認知症介護基礎研修創設の経緯	7
2. 本事業の目的	8
III. 検討委員会による検討	
1. 設置目的	10
2. 委員構成	10
3. 開催日・開催場所・主な議題	10
IV. 認知症介護基礎研修およびeラーニングに関する状況調査	
1. 目的と方法	26
1) 研修ニーズに関する全国調査	26
(1) 自治体における認知症介護基礎研修およびeラーニング等の実施状況に関する全国調査	26
(2) 認知症介護基礎研修およびeラーニングに関する受講状況調査	28
①認知症介護基礎研修等の受講状況に関する実態調査	28
②認知症介護基礎研修eラーニングの受講状況に関する実態調査	31
2) 研修ニーズ等に関するヒアリング調査	33
(1) 自治体（実施団体）における認知症介護基礎研修およびeラーニングの実施状況に関する	33
(2) 認知症介護基礎研修およびeラーニングの受講状況に関するヒアリング調査	33
2. 倫理的配慮	35
3. 結果	36
1) 研修ニーズに関する全国調査	36
(1) 自治体における認知症介護基礎研修およびeラーニング等の実施状況に関する全国調査	36
(2) 介護事業所における認知症介護基礎研修およびeラーニングに関する受講状況調査	61
①認知症介護基礎研修等の受講状況に関する実態調査	61
②認知症介護基礎研修eラーニングの受講状況に関する実態調査	87
(3) 一般的な研修ニーズに関する共通項目の基礎集計	99
(4) 介護事業所における研修ニーズの属性間比較	105

①研修担当者	105
i) 認知症介護に関する研修の実施状況	105
ii) 都道府県や各地域で実施されている認知症介護研修について	117
iii) eラーニングについて	129
iv) 一般的な研修に関する考え	136
②介護職員	146
i) 認知症介護に関する研修の実施状況	146
ii) 都道府県や各地域で実施されている認知症介護研修について	163
iii) eラーニングについて	173
iv) 一般的な研修に関する考え	183
(5) 研修受講または実施における重要要因の分析(コンジョイント分析)	194
2) 研修ニーズに関するヒアリング調査結果	199
(1) 自治体(実施団体)における認知症介護基礎研修およびeラーニングの実施状況に関するヒアリング調査	199
(2) 認知症介護基礎研修およびeラーニングの受講状況に関するヒアリング調査結果	202
4. 考察	229
1) 結果の要約	229
2) 研修実態および研修ニーズに関する考察	230

V. eラーニング広報用配布物の作製と配布

1. 目的	237
2. 対象	237
3. 広報内容	237
4. 配布先および配布数	239

VI. 事業の結論と総括

1. 認知症介護研修に関する課題と対策	240
2. 今後の方向性	244
3. eラーニングを活用した教育の方向性	259

巻末資料

1. 周知用パンフレット・リーフレット
2. 調査票